

「暮らしを彩るまちづくり」を支援 TOTOが「北九州国際音楽祭」へ2,400万円を寄付

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:喜多村 円)は、地域社会の芸術文化の振興を願い、1988年の第1回開催時より北九州国際音楽祭へ特別協力を行っています。今年、記念すべき第30回を迎えた同音楽祭に対して、昨年度より1,000万円増額した2,400万円を寄付します。

同音楽祭はバラエティに富んだプログラムで質の高いコンサートを提供していることから、都市型音楽祭としての評価が高く、北九州市外からの入場者数も増加しています。今回も、開催期間中に1万人以上の入場者を見込んでいます。

今後も、TOTOは継続的に支援していくことで、多くの方々に優れた芸術文化に触れる機会を提供してまいります。

記

■寄付金額:2,400万円

寄贈先:北九州市

※寄付総額(今回を含む累計)は6億5,000万円に達しました

■2017年開催概要

期間:10月7日(土)~11月26日(日) 51日間

会場:響ホール、アルモニーサンク北九州ソレイユホール 他

オフィシャルホームページ: <http://www.kimfes.com/>

■北九州国際音楽祭について

北九州国際音楽祭は、1988年に北九州市制25周年を記念して創設され、北九州市の目指す「暮らしを彩る」まちづくりの取り組みの柱の1つとして開催されております。

同音楽祭は、フィンランド屈指の夏のフェスティバルであるクフモ室内音楽祭と提携した時期(1988年~1997年)と、都市型の総合音楽祭として歩みつつ教育プログラムを充実させる時期(1998年~)という2つの異なる歴史を持ちます。

今年は「響~30th Anniversary」をキャッチコピーに、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の他、北九州市民文化賞受賞者や北九州から羽ばたいた優秀な若手演奏家を迎えての第30回記念「ガラ・コンサート(※)」、次世代育成のための教育プログラムなども予定されております。

※「ガラ」はフランス語で「祝祭」の意味